

うりずん通信・テレマカシー

うりずんとは…「潤う」と水が土にしみとおる「染む」からなる言葉で、沖縄の若夏をあらわします。さわやかな南風が吹き、野山は緑にあふれます。うりずんのようにやさしい風に包まれて、ゆったりとした時間を過ごしていただきたいという思いから名付けられました。

特定非営利活動法人うりずんは
お蔭様で3年目を迎えます

障がいをもつ子どもとご家族が
普通に暮らすことができるように
将来を見据えて準備を行います

今年もよろしくお願い申し上げます

恭賀新年

2014年 元旦

特定非営利活動法人うりずん

理事長 高橋昭彦



❖ 社会的排除と貧困 ❖

貧しい人、障がいのある人、ホームレスの人などを排除しないで一緒にやっていくことをソーシャル・インクルージョンといいます。英仏などEU諸国の福祉施策の根幹となっている考え方です。

去る2013年12月、ソーシャル・インクルージョン推進会議が東京で開かれました。代表の炭谷茂さん(恩財財団済生会理事長)

は、10年にわたる活動を振り返り、ホームレスは減ってはいるが若年化していること、障がい者の社会参加が進まないこと、孤独死が増えていることなどから、日本の社会状況は全般的に著しく悪化していること、日本社会の底が割れてしまっていることを指摘しました。その背景には、社会的排除や家族・地域の絆の弱体化、貧困の増大などがあります。

日本では徐々に貧富の差が大きくなってきています。日本の相対的貧困は2009年の時点で16.0%(厚労省調査)とされており、先進国では高いです。2007年の国民生活基礎調査を基にすると、単身者では手取り所得が127万円未満の人が相対的貧困にあたります。一方で、生活保護の保護率は2.1%。相対的貧困の率に比べるとまだ少なく、本当に必要な人が保護されていないとも読み取れます。重い障がいを持ちながら一人暮らしをする人や、さまざまな理由で職につけない親と子など、生活保護がないもののちをつなげない人もいます。今後、生活保護法の改正が施行されますが、必要とされる人が援助され、自立を目指すような施策となっていくのか、注意深く見ていきたいと思います。

❖ クリスマス会に感謝! ❖

「子どもたちにスペシャルな時間を」と実行委員会で準備してきた「みんなで楽しもうクリスマス会」が12月23日に開催されました。関係団体の子どもたちと家族、ボランティア、スタッフなど100名を超える人が集いました。Tinyさんの生演奏は、鳴り物を会場の子どもたちに渡して一緒に楽しんでもらうパフォーマンス。だいじょうぶさんの畠山夫妻の「ぶーたんとお腹ぺこおかみ」は、

初のブラックライトの人形劇で、皆さん楽しくご覧になっていました。三線バンド「なんくるないさ」さんの演奏ではエキゾチックなムードが流れ、私も少し一緒にさせていただきました。お待ちかね、ランチバイキングでは、から揚げ、ウインナー、スパゲティ、ピラフ、サラダなど豪華で、さらに手作りケーキ(10ホールを日本栄養給食協会さんより提供)、フルーツ(女性農業士会さんより提供)もあり、「ハイエナさんになろう!!」を言葉におなか一杯食べていただきました。

後半は、サンタとトナカイが登場して子どもたちにプレゼントをお渡し。Tinyさんの演奏と、女性農業士会さんのいちごの紙芝居では、とちおとめができるまでを楽しく学びました。最後は、お楽しみプレゼント大会。多くの方々からいただいたプレゼントは、子どもは抽選、大人はトナカイとのじゃんけん大会でお持ち帰りいただきました。

今回のトナカイは、なぜか関西弁を話しておりました。おやつが詰め込まれた長靴が胸にぶら下がっており、ひたすら子どもたちの間を練り歩いて、おやつを配りました。するとどうでしょう。おやつを配る前は、しらっと無視をしていた子どもたちが、おやつ目当てに寄ってくるではありませんか。子どもたちのたくましさを感じますね。

お蔭様で、たくさんの笑顔に出会えたクリスマス会となりました。支援者・参加者の皆さん、ボランティアの皆さん、スタッフの皆さん、本当にありがとうございました!

❖ うりずんの運営について ❖

今年のうりずんの運営方針は、日中一時支援(レスパイトケア)の質の向上に加えて、ケアのできる人材を育成し、居宅介護(ホームヘルプ)の拡充を行います。2014年1月

より、佐藤英治は居宅介護事業のサービス提供責任者になります。また、産休・育休を取得していた齋藤志津香が業務に復帰します。うりずんは、今後も、出産や育児を支援できる事業所を目指していきます。課題の訪問看護ステーションについては、人材と場所の確保を行いながら準備を進めていきます。変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



人形劇おもしろいね~!



サンタさんとトナカイさんの登場!!



理事長トナカイとハイチーズ!

日中一時支援事業(レスパイトケア)
サービス提供責任者 山元 朋子

うりずん日記

新 春とは名ばかりの厳しい寒さが
続いております。ノロウイルス
が大流行しているこの
時期、皆様体調は崩
されていないでしょ
うか？

うりずんは重い障が
いを持つ子どもたちを
日中にお預かりをして
いる施設です。「重い
障がい」と聞くと、寝
たきりや車椅子に座っ
ている子どもをイメージされる方が多いと思いますが、うりず
んには呼吸器や酸素、胃ろうを付けながらも歩いたり走ったり
と動き回る子どもたちもいます。その中には幼児期の子ど
もたちが多く、日々成長とともに活動範囲も広がり、ス
タッフは、転ばないか、他の友達のチューブを引っ張ら
ないか、など…いつもハラハラドキドキとアンテナを張り
ながら支援をさせて頂いています。

ボランティアのお姉
さんとパジャリ



障がいがあっても、
我が儘も言いますし、
反抗だってします。全
力で遊びに来る子ど
もたちに沢山の楽し
みを提供させて頂き
たい!! しかし、活発
すぎる子どもたち…

ハッピーハロウィン



(笑) うりずんは、看
護や介護よりも保育の
現場なのだと最近とて
も強く感じています。

年 々賑やかになるう
りずん…寝たきり
や車椅子に座っている
子どもたちも動き回る
友達に興味津々…お互いにとても良
い刺激になっています。

2014 年も賑やかにスタートしま
した!! うりずんのご利用者様とそ
の成長が楽しみで仕方ないスタッ
フ一同を今年も温かく見守ってい
てく

ださい。

ピアノ大好き~



理事長からお菓子
をもらったよ!



仮装してお出
かけしたよ~



クリスマス製作
頑張ってます!



日中一時支援事業

●平成25年10月~12月のご利用状況 (人)

10月	11月	12月	合計
74	68	60	202

* いずれも延べご利用人数です

●平成25年10月~12月のご来所状況 (人)

	10月	11月	12月	合計
見学者	6	9	0	15
ボランティア	5	0	0	5
計	11	9	0	20

●現在の登録状況………24名

* 登録ご利用者の年齢 ……………2歳~21歳

* 現在契約準備中の方 ……………0名

居宅介護事業

●現在の登録状況………4名

* 現在契約準備中の方 ……………0名

※詳細につきましては、ひばりクリニックHP「うりずん
活動報告書」をご参照ください。

うりずんの仲間たち

名前:五月女夏巳さん(なつちゃん)

学年・年齢:小学5年生 11歳

好きなこと:お出かけ、お風呂、プール、
お友達

嫌いなこと:寒い時、暑い時、強風

うりずんてどんなところ?:

お友達と一緒に楽しく遊べる場所。
スタッフの皆さんとっても優しく「私も遊んで～」と自我を出します(笑)

最後にメッセージ:

うりずんスタッフの皆様、いつも楽しくほんわかムードでなつみのお気
入りの場所です。いつもありがとうございます。「うりずん」いく! ?と聞
くと「あー」とお返事します!! 沢山新しい事にチャレンジさせてくれて、
本人も満足している様です!! 親の私達も嬉しく思っています。なつみを預
けている間、親の私達はショッピングをしたり外で家族揃ってランチをし
たり、息抜きさせて頂いています(笑) 感謝!!



名前:柳沼 暖人くん

(はるちゃん)

学年・年齢:5歳

好きなこと:ピアノを弾いて
もらう事、タオルでいない
いなばあ、抱っこ、お散歩
嫌いなこと:着ぐるみ、一人
ぼっち

うりずんって

どんなところ?! :

スタッフの皆さんがいつも
温かく迎えてくれるとても楽しく笑顔になれるし、
家族も安心して預けられる場所。

最後にメッセージ:

はじめは、預けることがすごく不安でしたが、はると
が本当にニコニコ楽しんでいるのを見ると嬉しいです。
これからも宜しくお願いします。



ご逝去のお知らせ

平成25年12月、ほのかさんが空の星に
なりました。享年4歳でした。

ほのかさんは、昨年5月からうりずんの仲
間となりました。可愛らしい笑顔で多くの職
員やお友達を癒してくれたほのかさん。小さな体



で沢山の思いを私たちへ表現して下さいました。

ご家族と一緒に病氣と向き合い、一生懸命治
療を頑張りました。本当に本当に頑張りました。

ほのかさんとの出会いに感謝して…うり
ずんで出会ったお友達と一緒にほのかさん
のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

うりずん役員紹介



- 名 前：原澤 直人（はらさわ・なおと）
- 経 歴：株式会社キープキャリアール 代表取締役
- 尊敬している人：松平 容保公
- 好きな時間の過ごし方（休日の過ごし方）：読書、あひるのお世話
- うりずんに対する思い：はじめまして、私は「NPO法人うりずん」副理事長の原澤直人でございます。もともと私の息子がうりずんの利用者としてお世話になっていたことがきっかけで、うりずんの活動に参画するようになりました。

社会の流れとして「障害」を「障がい」と表記することに現れるように、徐々に「人と違った個性」に理解と配慮が広がりつつありますが、障がいを持つ子供の親の負担軽減に関しては今だ不十分な環境であることに違いがありません。そのような中、うりずんは障がいを持つ子どもそしてその親も

「普通に暮らす」ことを目指すことができる社会づくりの旗印として、社会に広く情報と実情を発信し続ける存在でありたいと考えております。微力ながら理事の一員として精一杯活動してまいりますので、どうかご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

みんなで楽しもうクリスマス会

12月23日(月・祝)に富屋地区市民センターのホールをお借りして、うりずん主催「みんなで楽しもうクリスマス会」を開催することができました。今回のクリスマス会は、前回同様うりずんのご利用者様・ご家族を始め、認定NPO法人サバイバルネット・ライフ、NPO法人だいじょうぶの子ども達が遊びに来てくれました。さらに、各団体のスタッフや、以前から色々とお世話になっているTinyの皆様、おいしいご飯を用意してくださった日本栄養給食協会の皆様、会と一緒に盛り上げてくださったボランティアの皆様、総勢100名以上が集まり盛大に行うことができました。

どのプログラムも楽しく、笑い溢れるプログラムばかりで皆様とても喜んでいただきました。皆様の優しさに包まれているようなクリスマス会だったと思います。歳末たすけあい運動配分事業、協賛品やご寄付を頂いた皆様、そして、共催して下さった各団体様、ボランティアの皆様、ご利用者様、ご家族様のお陰で、楽しく、一体感のあるクリスマス会となりました。本当にありがとうございました。

(NPO 法人うりずん クリスマス会担当 佐藤英治)



認定NPO法人サバイバルネット・ライフ 仲村 久代

楽しみにしていたクリスマス会当日。お座りできる子どもたちは、舞台の前に陣取って始まりを待ちました。

トランペットが開会を告げると高橋理事長のご挨拶。「クリスマス会を始める前に、みなさんにお知らせがあります…」話し声が止んで少し緊張。次を聴こうとみんなの耳が大きくなりました。理事長は、とても静かにほのかさんが亡くなられたことを伝え、「ほのかさんのために黙とうをしましょう」と言われました。そして黙とう。会場はほのかさんへの祈りに包まれました。ほのかさんのお友達も、ほのかさんを知らない人も、ほのかさんのご冥福を祈りました。みんなの祈りはきっと、ほのかさんに届いたと思いました。

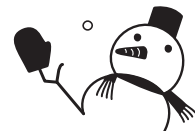
それから、プロ級の素晴らしい腹話術や人形劇、楽器演奏と楽しい歌、三線ライブや素敵なプレゼント。

おいしいお食事で楽しい時間を過ごしました。

今年もだいじょうぶやライフの子どもたちを誘って頂き感謝しています。よちよち歩きの赤ちゃんの笑顔、

ご家族の笑顔、ボランティアさんの笑顔、スタッフの笑顔。たくさんの笑顔に会えてすごうれしかった。

みんなにメリークリスマス！ みんなにありがとう！



NPO 法人だいじょうぶ 前田 利一

皆さん、こんにちは。クリスマス会には母子の居場所「Your Place ひだまり」に通う子どもたちと一緒に参加させていただきました。

うちの子どもたちは、さまざまな事情により家で安心して過ごせない子どもたちです。「僕(私)をもっと大切にしてほしい!」という子どもたちです。うちの子たちは、自分たちを温かく迎えてくれる、そして分け隔てなく扱ってくれる「うりずんのクリスマス」が大好きです。会場で楽しんでいるのはもちろん、送迎の車中でも仲間と歌いはしゃぎと普段見せない面を見せる子もいます。「うりずんのクリスマス」への参加が、何よりのクリスマスプレゼントのようです。

このような機会をいただき、本当にありがとうございます。



Tiny代表 土沢 薫

うりずんクリスマス会への初参加、温かく楽しく貴重なひとときを共に過ごさせていただきました。参加者の皆さま、

お会いできうれしかったです。準備と運営に尽力されたうりずんスタッフの皆さま、表裏でご支援くださった多くの方々、お疲れ様でした。有難うございました!

今回 Tiny は、準備段階では、保育者を目指す学生のボランティアが折り紙サンタ付きのくじ引き用プレートを心込めて手作り。当日は、音楽療法コースの学生ボランティアらが会場と一体となつての音楽演奏を行いました。Tinyらしい形で参加しつつ学生と共に皆さまに育てていただきました。「うりずん」とは更につながりをも、だいじょうぶや「ライフ」という素晴らしい団体や子どもたちとのうれしい出会いもありました。子どもや若者たちの笑顔や成長、人とのつながり、皆が支え合い慈しみ合う時…。皆さまのおかげで、沢山の幸せを共有させていただき、心から感謝しています。

ぜひ、またお会いしましょう! これからもよろしくお願いいたします。

☆☆☆みんなで楽しもうクリスマス会☆☆☆

三線演奏会



畠山さん、ありがとう!



みんな人形劇に夢中でした

Tiny 演奏会



おいしそう! 何から食べようかな~



手作りプレゼント



おもちゃの協賛品もたくさん!



ケーキもらったよ



抽選会で素敵なお家が当たりました!

ご協賛 ありがとうございました<(_)>

29名(団体)の皆様から素敵なクリスマスプレゼントをいただきました!(うち匿名1名)
*お名前を掲載できなかった方、申し訳ありません。

- ・磯川 洋子 様
- ・岩上 初枝 様
- ・植木医院 植木 雅人 様
- ・宇賀神 敏 様
- ・(株)宇都宮山三 代表取締役社長 青木 邦之 様
- ・榎本 幸子 様
- ・(医)おかべこどもクリニック 様
- ・金岡 貴子・耕祐 様
- ・金田 ミヨ・千恵子 様
- ・(株)釜屋 様
- ・(株)キープキャリアール 様
- ・グラクソ・スミスクライン(株) 様
- ・黒崎 ヒロ 様
- ・三條 安子 様
- ・篠崎 とし子 様
- ・関口 清美 様
- ・関根 まき子 様
- ・高野 一之 様
- ・竹原 由美子 様
- ・手塚 敏子 様
- ・社会福祉法人 晃丘会 田中 豊治 様
- ・(株)日本栄養給食協会 橋本 正行 様
- ・橋本 晃典・美科 様
- ・(株)ファーマーズフォレスト 松本 謙 様
- ・(医)福田こどもクリニック 様
- ・御子貝 荒江 様
- ・ユウ福祉タクシー 長 重光 様
- ・NPO法人 生きるちからVIVACE 様

看護師・介護士募集中

●うりずんでは、看護師・介護士を募集しております。
障がい福祉分野を経験された方やこれから経験したい方で、うりずんの事業に関心のある方…是非うりずんで一緒に働きませんか!?

事業内容 医療的ケアが必要な子どものレスパイトケア、ホームヘルプなど。訪問看護に関心のある方もご一報下さい。

詳細はうりずんまでお問い合わせください。スタッフ一同心よりお待ちしております。

連絡先▶ ☎028-601-7733 (水・日・祝祭日はお休みです)

編集後記

お正月休けも終わり、残ったのは体に付いた脂肪だけ…も、さて、うりずんは更に「笑」を大事にしていきたい。沢山笑いと気分もワクワクしますよ!! 笑顔でうりずんを明るく照らしていきたいと、皆様にとって、ワクワク楽しい一年になりますように…。

山元 朋子



うりずん通信・テレマカー

第 8 号 2014年1月20日発行

<http://hibari-clinic.com/urizn/index.html>

《編集・発行》 特定非営利活動法人 うりずん

〒321-2118 栃木県宇都宮市新里町丙357-14

TEL: 028-601-7733 FAX: 028-665-8899

Mail: urizn@hibari-clinic.com

《デザイン・印刷》 デザインスタジオ アクセス

NPO法人うりずん寄付者名簿(敬称略)

平成 25 年 10 月 1 日～12 月 31 日(到着分)

ご寄付 1,262,709 円をいただきました。ご支援ありがとうございました。

■一般寄付者 延べ 51 名(うち匿名希望 13 名)

*掲載順は都道府県の 50 音順になっております。

茨城 日立市 佐藤 美恵	宇都宮市 五月女浩之 高橋 昭彦	日光市 沼尾 泰子 下野市 若林 英二	文京区 内田 咏子 練馬区 高橋百合子
栃木 宇都宮市 大塚 俊男 金澤 知子 菊地 月香	高松 祐一 長 重光 豊田三枝子 奈良クニエ	那須塩原市 児玉 幸弘 塩谷町 植木 雅人	世田谷区 上原 靖之 渡邊 文子
子育て支援研究センター Tiny	(株)日本栄養給食協会 指定障害者支援施設 ひばり	千葉市 櫻井 開之 市川市 金屋 友子	小金井市 奥平 朋子 多摩市 楠本 郁子
佐藤 秀男 佐藤 幸子 清水 陽子 助川 勉	渡辺恵美子 日光市 加藤 浩治 鈴木 法子	中川 尚子 印西市 ウィングヒルチャペル	立川市 宮田 章子
		東京 江東区 中田 忠雄	神奈川 厚木市 江頭 文江
			鹿児島 鹿児島市 久木元 司

■個人賛助会員 37 名(うち匿名希望 6 名)

茨城 日立市 佐藤 美恵	宇都宮市 篠崎 文子 鈴木 勇二	宇都宮市 西 昌子 本郷 秀崇	北葛飾郡 入月 励子
栃木 宇都宮市 新井 裕子 嶋志田耕太郎	高瀬いづみ 高松 祐一	日光市 松原 昌子 渡辺恵美子	東京 足立区 村田 君江
川島 正浩 菊地 月香 佐藤 秀男 佐藤 幸子 篠崎 幸治	田沢 利江 手織教室(火曜コース) 手織教室(水曜コース) 手織教室(木曜コース) 手織教室(フリーコース)	埼玉 さいたま市 稲澤 恒治 白岡市 柴田あけみ	中野区 宇野 雅子
		埼玉 埼玉市 橋本 誠 鈴木 法子	神奈川 厚木市 江頭 文江
		岐阜 岐阜市 久保田芳則	

■団体会員 5 団体

栃木 宇都宮市 雀宮生活改善クラブ 農産加工所 パルエイド(株)たいよう本舗 渡辺キヨ薬局	塩谷郡塩谷町 植木医院	福井 福井市 オレンジホームケアクリニック
--	-------------	--------------------------

ご支援の お願い

事務処理上の関係で大変恐縮ですが、必ず賛助会員・寄付申込書をうりずん宛に F A X または郵送でお送りください。

用紙はホームページ (http://hibari-clinic.com/shiryo_box/file/urizun_kifu.pdf) に掲載しております。(または、F A X でご連絡いただければ、用紙を郵送いたします。)

入金ならびに申込用紙をごちうで確認できた後に、領収証をお送りさせていただきます。

【記入上のご注意】

必ず、申込者のお名前、ご住所、申込内容ならびに金額、匿名希望について記入していただきますようお願い申し上げます。

○賛助会員のお申し込みの場合

個人年会費または団体会年会費のどちらかを選択してください。

○一般ご寄付のお申し込みの場合

- ① 一般寄付(使途自由) ② スロープ車うりぼう号の購入
- ③ 子どもと家族のための地域拠点整備
- ④ 外出支援(修学旅行など)の中から一つを選択してください

【各種振込先のご案内】

※振込み手数料は別途ご負担をお願い致します。

●ゆうちょ銀行<ゆうちょ銀行からのお振込み>

口座番号: 00110-4-441471

口座名: 特定非営利活動法人うりずん

●その他の銀行<ゆうちょ銀行以外からのお振込み>

ゆうちょ銀行 ○一丸店(ゼロイチキュー店)

当座: 0441471

ご寄贈いただきありがとうございました

先日 10/9 に初の敬老会が行われた。全額収益金と
うりずんに送付していただき、ありがとうございます。
ボスグーエイト 近所には貼ってあります。お返しはあり
十分に、ない地域の方にはお知らせさせていただきます。夫の方
も初めて足を運んでくださる方から「来年は早めに足が速く
さ、郵品も出して、協力したい」と暖かい言葉もいただ
き、嬉しかったです。

ウィングヒルチャペル 床井 洋 様(千葉県)

主催された教会バザーでの全額収益金をご寄付
いただきました。

北川 貢嗣 様(滋賀県)

ポータブル式吸引器・吸入器
をご寄贈いただきました。



金谷 友子 様
(千葉県)

昨年放映された
NHK 番組をご覧
いただいたのを
きっかけに、子
どもたちへと沢
山の可愛い折り
紙をご寄贈いた
だきました。今

回で 2 回目の折り紙のご寄贈でした。

皆様の温かいお気持ちに
スタッフ一同感謝申し上げます。

第18回「在宅ケアネットワーク栃木 総会・シンポジウム」のお知らせ

日 時：2014年2月11日(火・祝)
10時～15時30分(9時30分開場)
会 場：自治医科大学 地域医療情報研修センター 大講堂
テーマ：『いのちに寄り添う在宅医療』
「人生の最終章を家で迎えるために、私達ができること」

◆メッセージ◆

第18回 大会長 趙 達来
(医)創生会 真岡西部クリニック)

生きとし生ける全てのものの命は有限です。たとえいつかはこの世を去ろうとも、自分や最愛の家族の人生の最期はその人らしく、悔いの残らないように・やりたいようにご自宅で過ごせること、これが最も自然な最期のあり方ではないでしょうか。

今回『いのちに寄り添う在宅医療』というテーマを掲げ、人生の最終章を家で迎えるために、私達ができること、それを演者、シンポジスト、参加者全員で掘り下げてみたいと思ひ大会を企画しました。多くの方々にご参加頂き思いを一つにして頂ければこれほどの喜びはありません。皆さま方のご参加を心よりお待ちしております。

【プログラム】

10:00-10:15 開会・挨拶
佐々木英昭(在宅ケアネットワーク・栃木事務局長)
10:15-11:30 基調講演『最期まで自分らしく生きる』
萬田緑平さん(緩和ケア診療所・いっぽ 群馬県)
司会：趙達来さん(真岡西部クリニック)
11:30-11:45 基調講演質疑応答
11:45-12:15 アピールタイム、持ち時間3分(時間はPPTで表示)
12:15-13:00 休憩・昼食
13:00-14:15 シンポジウム(発表時間15分)

「人生の最終章を家で迎えるために、私達ができること」

- 1) 大竹伸子さん(患者家族)
 - 2) 三木次郎さん(歯科医師)
 - 3) 西村悦子さん(栃木かあさんの家大田原)
 - 4) 佐々木剛さん(特別養護老人ホームひまわり)
 - 5) 根本ひろ美さん(薬剤師)
- 司会 太田秀樹さん(医療法人アスミス)、飯島恵子さん(ゆいの里)
14:15-15:00 シンポジウム・討論
15:00-15:30 総括・次期大会会長(高橋昭彦さん、ひばりクリニック)挨拶、閉会の挨拶

【参 加】

大会参加費(兼)年会費：一般会員1000円、学生会員500円
(会員でない方は、当日会場で入会手続きをお願いします。定員540名)

【昼 食】 弁当お茶つき1000円(要予約申込み)

【締切り】

2014年1月28日
*円滑な大会運営のため「事前申込み」にご協力ください

【郵便振替】

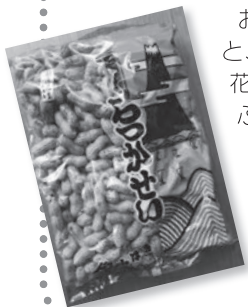
記号番号 00180-1-418778
加入者名「在宅ケアネットワーク栃木」宛て
*通信欄に 申込者住所、参加者全員の氏名、弁当の数を書き、合計額をお送りください。当日名札を準備します。
*当日参加も可能ですが、出来る限り事前申し込みをお願いします

【連絡先】

在宅ケアネットワーク栃木事務局
〒328-0012 栃木県平柳町2-1-38(学校法人)産業教育事業団内
電話・FAX:028-29-1050
E-mail: carenet@cc9.ne.jp
<http://www.cc9.ne.jp/~carennet/20140211.htm>

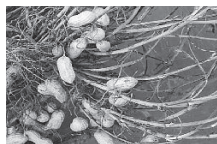
【お店情報】

山津屋(千葉県木更津市文京)



お正月に木更津に帰省すると、必ずといっていいほど落花生がおいてあります。久しぶりに食べると、とても美味しく感じます。年の暮れになると、きまって、「山津屋」さんに買いに行きます。

お店は、矢那川のほとりにあります。川の兩岸



は桜並木になっていて、春には満開の桜がとてもきれいなところですよ。

さて、家族で食べる落花生は、安く売られている「はね出し」です。それでもとてもおいしいと思って食べています。また、農産物のため、年によって味がことなるようです。

千葉県の落花生の生産量は、作付面積で、全国

◀秋に収穫したの7割ほどを占めているそうです。
落花生 (レポーター/山元 朋子)



うりずん通信第7号へ寄せられた感想から

●“りんたろうくんプロジェクト”について

うりずん通信テレマカシー7号拝見しました。皆様のご活動の発展を心から願っております。

“りんたろうくんプロジェクト”の会場に優しい空気が流れたように、日本中により優しい空気が流れますよう祈ります。
(東京都 楠本郁子さん)

NPO法人うりずんでは通信発行をご支援して下さる協賛企業様を随時募集しております。

「うりずん通信・テレマカシー」は年4回の発行となります。一回の発行費用に、印刷・郵送代などで15万円ほど必要となります。そこで、広告代として通信発行を支援していただける協賛企業様を一口1万円で募集いたします。次号掲載のご希望の方は、3月中旬までにNPO法人うりずんまでご連絡ください。皆様方のご協賛・ご支援を宜しくお願い申し上げます。

協賛企業様

あなたのキャリアにエールを

